

愛媛県の教員のキャリアステージ



採用段階

子どもへの愛情と教育に対する熱意を持ち、教職についての専門的な知識を身に付ける。

基盤形成期

崇高な使命感の下、自らの職責を果たし、教員としての基盤を固める。

資質・能力向上期

意欲的な実践を重ねることを通して、教育のプロとしての力量を高める。

資質・能力充実期

ミドルリーダーとしての自覚と責任を持ち、専門性や指導力を発揮する。

資質・能力発展期

広い視野に立ち、教育活動全般においてリーダーシップを発揮する。

リーダーシップの発揮

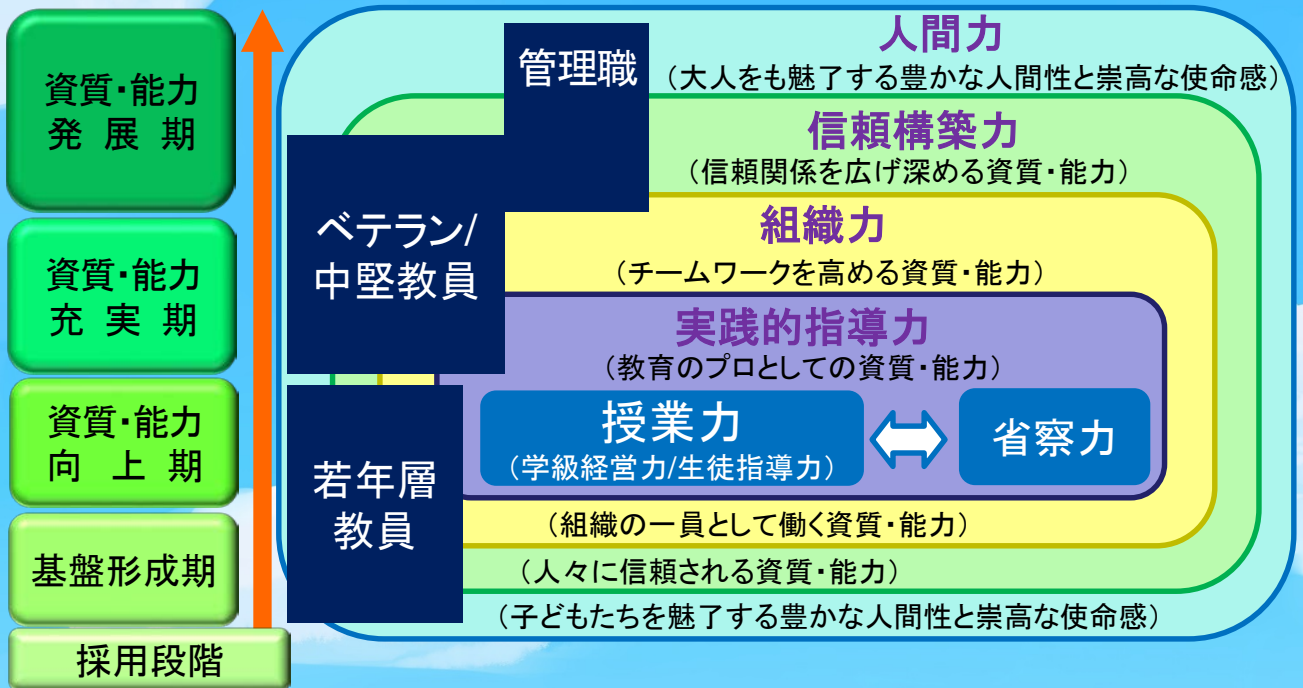
ミドルリーダーとしての自覚と責任

教育のプロとしての力量の向上

豊かな人間性と崇高な使命感

教育に対する熱意と学び続ける向上心

愛媛県の教員に求められる資質・能力



愛媛県では、本指標の作成に当たり、教員に求められる資質・能力を、【人間力】【信頼構築力】【組織力】【実践的指導力】の四つの観点から捉えた。これら四つの資質・能力は、教員のキャリアステージに応じて次のように往還的に求められる。

採用段階を経て、「基盤形成期」「資質・能力向上期」に当たる若年層教員には、子どもたちを魅了する豊かな人間性と崇高な使命感等の【人間力】、人々に信頼される【信頼構築力】、組織の一員として働く【組織力】、これらに支えられた教育のプロとしての【実践的指導力】が求められる。これに加え、「資質・能力充実期」「資質・能力発展期」の中堅からベテラン教員には、チームワークを高める【組織力】や信頼関係を広げ深める【信頼構築力】が、さらに管理職には、全ての大人をも魅了する豊かな人間性と崇高な使命感に基づく、より高い【人間力】が求められる。これらの資質・能力は、教員のキャリアステージ全体を通して、学び続けることによって、身に付いていくものであり、そのためにも『学び続ける教員像の確立』が必要である。(上図参照)

幼稚園教員のキャリアステージにおける指標(例示)

観点	ステージ	初任～		10年～		20年～		管理職としてのステージ	
	キーワード	採用段階	基盤形成期	資質・能力向上期	資質・能力充実期	資質・能力発展期			
人間力	学び続ける向上心	常に目標を持ち、その実現に向け、学び続ける。							<ul style="list-style-type: none"> ・高い規範意識と責任感を持つ。 ・崇高な使命感と情熱を持つ。 ・大人をも魅了する豊かな人間性を持つ。 ・自己管理能力を持つ。
	使命感・倫理観	教員の使命や責任について理解する。	使命感や責任感を持って教育活動に取り組む。教育公務員として法令を遵守し、職務を遂行する。						
	豊かな人間性	子どもたちへの深い愛情を持つ。	子どもたちを魅了する豊かな人間性を持つ。	子どもたちや保護者、同僚を魅了する豊かな人間性を持つ。	地域の人々をも魅了する豊かな人間性を持つ。				
	人権感覚・人権意識	差別や偏見を見抜く、基礎的な知識を身に付ける。	多様な価値観を尊重し、常に人権感覚を磨くとともに、人権意識を高め続ける。人権問題に対する正しい理解や認識を深め、問題解決への確固たる姿勢を確立する。						
	識見・教養	公共のマナーを踏まえて行動する。	社会人としてのマナーを身に付ける。	幅広い知識や教養を教育活動に生かす。			高い識見や教養、経験に基づいて判断する。		
	心身の健康	健康的な生活をする。	自他のワーク・ライフ・バランスを図り、心身の健康の維持・増進に努める。						
実践的指導力	省察力	自分のよさと課題を正しく理解しようとする。	日々の実践を振り返り、課題を明確にし、その解決に取り組む。	自分のよさと課題を正しく認識し、日々の教育活動の改善に取り組む。	客観的に自分を見つめ直し、今後のキャリアプランを立てる。			<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に導く力を持ち、学び成長し続ける。 ・教育ビジョンを設定し、具現化する。 ・保育実践及び園経営に対する高い識見や理念を持つ。 ・高度な実践的指導力を持った教職員の育成に努める。 	
	教育・保育構想力	指導計画の立て方を理解する。	ねらいを明確にし、見通しを持った指導計画を立てる。	PDCAサイクルを実践しながら、子どもの実態に即した指導計画を立てる。	園の実態に即した創意工夫のある指導計画を立てる。				
	幼児理解力総合的指導力	子どもの発達を理解する。	子どもの観察を様々な視点から行い、内面を理解する。	子どもの内面を理解した上で、遊びを通して総合的に指導する力を身に付ける。	子どもを理解し、総合的に指導する力について園全体の評価を行う。				
	幼小連携推進力	幼児教育と小学校教育が連携する意義を理解する。	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を理解する。	小学校との円滑な接続に向けた学びの見通しを持ち実践する。	幼小の持ち味を生かした連携について計画を立てる。	幼小連携の推進に向けて相互の理解と協力を深める。			
	教育相談力子育て支援力	教育相談についての基礎的な知識を身に付ける。	子どもの発するサインを見逃すことなく対応する。	子どもの課題を共有し、チームとして、解決に当たる。	保護者や地域の理解と協力を得るために情報発信に努める。	地域や関係機関と連携し、園全体の課題解決に努める。			
	特別支援教育実践力	特別支援教育に関する基礎的な知識を身に付ける。	支援が必要な幼児の特性を理解し、適切に対応する。	特別支援教育の視点に立った実践的指導力を持つ。	支援が必要な幼児に組織的・計画的に対応するなど、園の中核として特別支援教育の推進に努める。				
	えひめ人材育成力	愛媛の魅力と課題について理解する。	ふるさと愛媛に誇りと愛着を持たせる教育の実現に努める。国際的な視野を養うとともに、地域の課題に目を向け、愛媛の未来を拓く人材の育成に努める。						
組織力	組織貢献力	組織的な対応の重要性を理解する。	組織の一員として与えられた役割を確実に果たす。	自分にできることを考え、積極的に実践する。	ミドルリーダーとしての自覚と責任を持ち、職務に当たる。	教育活動全般を推進し、次世代の教員を育成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・高度なチームワークを持った組織を構築する。 ・危機を予見・管理し、未然防止に努める。 ・安心・公正でやりがいのある職場環境を醸成する。 ・様々な人材の活用を視野に入れた教職員組織を編成する。 ・教育ビジョンを家庭や地域等に分かりやすく発信する。 ・地域に信頼とつながりの輪を創り広げる。 	
	学校安全の意識・危機管理能力	学校安全の基本的な内容を理解する。	危険を予測し、未然防止に努める。緊急時に適切な対応をする。			様々な事案に迅速で適切な対応をする。	危機管理体制を点検し、改善への提言を行い、安全意識の向上に努める。		
	協働性・同僚性	他者と協力して課題の解決に取り組む。	報告・連絡・相談を行い、助力を得て課題を解決する。	自他のよさを生かして連携して課題を解決する。	よりよい同僚性を築き、ミドルリーダーとして課題の解決に当たる。		人材育成の視点から助言や支援を行い、よりよい同僚性の構築を促す。		
信頼構築力	対人関係力	感謝の心を持ち、相手を大切にします。	気持ちのよい挨拶を交わし、対話に努める。	相手の考えを柔軟に受け止め、自分の考えを分かりやすく伝える。	様々な立場の人々と積極的につながり、人間関係を広げる。		連絡・調整の中核となり、よりよい人間関係づくりを進める。		
	地域と連携・協働する力	地域の自然・文化・歴史・産業などについて理解する。	地域との連携・協働の必要性について理解する。	地域と連携・協働した教育活動に、積極的に取り組む。	地域の人材と情報を効果的に活用して、教育活動の充実に努める。	連携・協働した教育活動の実践を通して、地域と園の課題の解決を図る。			